

### 新型 SUV「WR-V」を発売 ～多様なライフスタイルやニーズに応える自由な SUV～

Honda は、新型 SUV「WR-V<sup>※1</sup>（ダブリューアールブイ）」を2024年3月22日に発売します。WR-V は、安心と信頼を感じられる力強いデザインとするとともに、クラストップレベル<sup>※2</sup>の荷室空間を実現。また、すべての人が安心して運転できるダイナミック性能の提供を目指しました。

WR-V 製品サイト <https://www.honda.co.jp/WR-V/>



新型 SUV「WR-V」

※1 「Winsome Runabout Vehicle（ウィンサム ランナバウト ビークル）」の頭文字を組み合わせた車名。Winsome には、「楽しさ」や「快活さ」の意味があり、このクルマと生き生きとした毎日を楽しんでほしいという思いが込められている

※2 コンパクト SUV クラスにおいて。2023年12月現在。Honda 調べ

■販売計画台数（月間）

3,000 台

#### 【WR-V の主な特長】

WR-V のグランドコンセプトは、「VERSATILE FREESTYLER（バーサタイル フリースタイラー）」。「VERSATILE」は、多様なライフスタイルやニーズに適応できること、「FREESTYLER」は、さまざまな制約を乗り越え、自由に自分らしいスタイルで生きることそれぞれ表現しています。既成概念や固定観念にとらわれずに、より自由な発想で自分らしい生き方を表現する人々の思いに寄り添うクルマとなることを目指して開発されました。

## ■パッケージング

- ・運転席は、高いアイポイントによる見晴らしのよい視界と、操作しやすいステアリングやペダルの配置によるセダンライクな運転姿勢を両立させました。
- ・運転席の前方見下げ角を大きくすることで、車両前方の距離感をつかみやすくしました。また、助手席側のフロントフードの端が見えるよう形状を工夫し、フロントフードの前方まで見やすいデザインとするなど、運転のしやすさを追求しました。
- ・後席は、一クラス上のゆとりある空間を目指し、頭上空間の広さを確保。さらに、ドアライニングの下部や前席シートバックの形状を工夫することで、乗り降りがしやすく、ゆとりのある足元空間を実現しました。
- ・荷室は、後席からの荷室長を確保するとともに、壁面をフラットに近い形状にしたり、床下収納を設けたりしたことで、クラストップレベルとなる 458L<sup>※3</sup> を実現。多様なニーズに応えられる広々とした室内空間としました。
- ・最低地上高は、クラストップレベル<sup>※2</sup> となる 195mm とし、未舗装路や段差を走行するストレスを軽減し走りの自由度を高めました。

※3 荷室容量は VDA 方式による

## ■デザイン

- ・エクステリアは、スタイリングから安心と信頼を感じられるようなデザインを目指しました。フロントは、サイドのベルトラインから水平に車両前端まで伸ばしたフロントフードとスクエアなフロントグリルにより、分厚いロングノーズを表現。またフロントノーズからリアまで体幹を貫くような厚みのあるボディ造形とすることで堂々とした佇まいを表現しました。前後ライトのデザインは、四隅に踏ん張るようなワイド感を高めるデザインとし、フロントはフル LED、リアはストップランプとテールランプに LED を採用しています。
- ・インテリアは、シンプルで水平基調のデザインとし、スイッチ類を中央に配置することで運転しやすい空間を目指しました。またメーターには、7 インチ TFT 液晶メーターとアナログスピードメーターを組み合わせたメーターを採用。7 インチ TFT 液晶メーターでは、スピードメーターや走行モードなどの基本情報に加え、Honda SENSING などの情報を見やすく表示します。さらに、エアコンの風を後席へ届けるリアベンチレーションを全タイプに標準装備し、後席空間の快適性を高めました。

## ■ダイナミクス

- ・すべての人が安心して運転できる SUV を目指し、運転する人の「走る・曲がる・止まる」の意思に対し、的確に反応するハンドリング性や車体の安定性、快適な乗り心地を追求。人の気持ちに寄り添うダイナミック性能を目指しました。
- ・パワートレインは、静粛性と高出力を両立した 1.5L DOHC i-VTEC エンジンを搭載。CVT は、DBW<sup>※4</sup> と CVT の協調制御「G-design Shift」を採用しリニアな加速フィールを追求しました。また、加速時や減速時のステップシフト制御を採用するなど、CVT 制御を WR-V 向けに最適化することで、さまざまな走行シーンにおける心地よく安心感のある走りの提供を目指しました。
- ・「FIT (フィット)」のシャシーをベースに、電子制御パワーステアリングやサスペンションを WR-V 向けに最適化し、扱いやすいリニアな操縦性を追求しました。また、優れた直進安定性と乗り心地の良さを目指し、2,650mm のロングホイールベースとしました。
- ・エンジンマウント類の配置やサイズの最適化によりエンジンの振動を低減。また、ロードノイズの低減のための遮音や吸音対策を行うことで、i-VTEC エンジンの気持ちの良いサウンドを提供しながら、静かで快適な室内空間を目指しました。

※4 ドライブ・バイ・ワイヤの略

## ■安心・安全領域

先進の安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダ センシング）」※5 を全タイプに標準装備。フロントワイドビューカメラと前後 8 つのソナーセンサーを用いたシステムを採用し、さらなる安心・安全を追求しました。

### <Honda SENSING 搭載機能一覧>

- 1) 衝突軽減ブレーキ<CMBS>
- 2) 誤発進抑制機能※6
- 3) 後方誤発進抑制機能※6
- 4) 近距離衝突軽減ブレーキ※6
- 5) 急アクセル抑制機能
- 6) 歩行者事故低減ステアリング
- 7) 路外逸脱抑制機能
- 8) アダプティブ・クルーズコントロール<ACC>
- 9) 車線維持支援システム<LKAS>
- 10) 先行車発進お知らせ機能
- 11) 標識認識機能
- 12) オートハイビーム
- 13) パーキングセンサーシステム

※5 Honda SENSING は、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします  
詳細はホームページをご参照ください <https://www.honda.co.jp/hondasensing/>

※6 「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせると「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます

## ■全国メーカー希望小売価格

タイプ	乗車定員	エンジン	トランスミッション	駆動方式	消費税 10%込み
X	5名	1.5L DOHC i-VTEC	無段変速 オートマチック (トルクコンバーター付)	FF	2,098,800円
Z					2,349,600円
Z+					2,489,300円

※ 価格には、保険料、税金（消費税を除く）、登録などに伴う費用は含まれません

※ 価格はメーカー希望小売価格（消費税 10%込み）で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めています。詳しくは販売会社にお問い合わせください

※ 自動車リサイクル法の施行によりリサイクル料金が別途必要。リサイクル料金は、リサイクル預託金（シュレッダーダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要な費用、情報管理料金）および資金管理料金の合計金額

## ■ボディカラー

- イルミナスレッド・メタリック★
- プラチナホワイト・パール★
- クリスタルブラック・パール
- ゴールドブラウン・メタリック★
- メテオロイドグレー・メタリック★

★ 38,500円（消費税 10%抜き 35,000円）高となります